

基本方針（案）

地域の力創造委員会
委員長 設楽厚彦

昨今、子供や若い世代の朝食欠食や個食の増加や、日々忙しい生活を送る中で、不規則な食生活など、私たちは毎日の食事の大切さを忘れがちです。また、物流の発達、外食産業の進出、食料の海外への依存など、私たちを取り巻く環境の変化や社会情勢の変化により、地域特有の自然豊かな味覚や文化が失われつつあります。こうした、食生活の改善の面からも食の安全の確保の面からも自ら食のあり方を学ぶことが必要です。

豊かな緑と水に囲まれた西村山には新鮮で安心・安全な食材がたくさんあります。私たちが普段何気なく口に入れている物ではありますが、ただ単に食という欲求を満たすためでなく、自然の恵みである貴重な生命を食し、自らの生命を繋いでいることを忘れてはいけません。私たちは改めて食のありがたさ、尊さに気づき、美しい西村山の魅力を一人ひとりが誇りを持って自覚するべきです。私たちがこの地域に生活する以上、地域の食や文化とは切っても切れない関係にあり、私たち一人ひとりが西村山の自然・大地の恵みの食を学び、それに関わる人との絆や活動への感謝、そして生まれ育った地域文化のすばらしさを再認識しなくてはなりません。

また、自らが生活する地域文化に誇りを持つことと同時に、他の地域文化を学び見識を広げることも重要なことと考えます。地域同士の交流や人と人との交流を通して、お互いが理解し合い、分かち合うことで改めて西村山の魅力を再認識し、自然を愛する心や地域を愛する心を育めるような事業を展開してまいります。

この運動を通して、私たち一人ひとりが、高い志を持って愛する地域の魅力を見つめなおし、恵まれた自然環境と調和した「美しき郷土西村山」を誇りに持つことで、その先にある「明るい豊かな西村山」の実現に繋がるものと確信します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26